

アメリカ教育学会 第 31 回大会プログラム

Japan Association of American Educational Studies

The 31st Annual Conference

日時:2019 年 10 月12 日(土)

会場:京都教育大学 藤森学舎

主催:アメリカ教育学会

大会日程・大会参加要領

時 間	備 考
9 : 30～10 : 15	受付（午前：1号館A棟 A1 教室前）
10 : 15～12 : 15	自由研究発表Ⅰ（1号館A棟 A1 教室） 自由研究発表Ⅱ（1号館A棟 A2 教室） 自由研究発表Ⅲ（1号館A棟 A3 教室）
12 : 15～13 : 00	昼食 受付（午後：1号館C棟 大講義室Ⅰ 前）※午後からお越しの方のみ
13 : 00～13 : 45	総会（1号館C棟 大講義室Ⅰ）
14 : 00～16 : 15	公開シンポジウム（1号館C棟 大講義室Ⅰ） テーマ：日米比較を通して生徒指導を考える ー不利な立場にある子どもに着目してー
17 : 00～19 : 00	情報交換会（「酔心」京都駅前店）

1. 受付

午前の受付は、10月12日（土）9:30 から1号館A棟A1 教室前で行います。
午後の受付（午後からお越しの方のみ）は、12:15 から1号館C棟大講義室Ⅰ 前で行います。

2. 学会費

会員で会費未納の方は、年会費（正会員 6,000 円、学生会員 5,000 円）を納めてください。大会当日も納入可能です。また当日、新規入会を希望の方は、入会金 1,000 円を添えてお申込みください。

3. 大会参加費（発表要旨収録集代を含む）

3,000 円（一律）

4. 情報交換会（懇親会）

会費：4,000 円 場所：酔心 京都駅前店

JR 京都駅からすぐの場所にあります。会場は、当日係がご案内いたします。会員相互の親睦を深めるため、多くの会員の皆様のご参加をお待ちしています。懇親会に参加希望の方は、9月20日（金）までにメール（noriko@kyoukyo-u.ac.jp）宛 タイトルは「情報交換会参加」にてお申込みください。

※当日キャンセルされる場合は、大変申し訳ございませんが、会費を頂戴させていただきます。この点どうかご容赦ください。

5. 宿泊

京都のホテルは予約が大変取りにくくなっております。ご宿泊を予定される方は早めにご予約されることをお勧めします。

6. 昼食

京都教育大学近辺は昼食のとれるところがほとんどございませんので、昼食はご持参されますようお願いいたします。コンビニエンスストアはございますが、少し距離がございます。

7. 総会

10月12日（土）13：00～13：45

1号館C棟 大講義室I

8. 理事会（※学会理事のみ）

10月11日（金）15：00～17：00

教育創生リージョナルセンター機構棟 2階 未来教室対応教室

9. 若手研究者ワークショップ・交流会

10月11日（金）17：00～18：30

教育創生リージョナルセンター機構棟 2階 セミナールームA・B

※若手研究者ワークショップ終了後に交流会を開催します。詳しくは、若手研究者ワークショップ・交流会のご案内のページをご覧ください。

【自由研究発表要領】

発表時間：発表20分・質疑5分（計25分）

発表に必要な資料は、各自30部ご用意いただき、大会当日にご持参ください。

発表会場には、パソコン、プロジェクター、スクリーンが常設されています。

USBにてデータをお持ちください。また、ご自身のパソコンの使用も可能ですが、Macをご使用の方はアダプターをお持ちください。

自由研究発表 I

10月12日（土）10：15～12：15 1号館A棟A1教室

【司会】八尾坂修・末藤美津子

・10:15～10:40

ESSA 制定と施行のインパクト

○矢野 裕俊（武庫川女子大学）

・10:40～11:05

アメリカの教員養成・採用・研修の一体的改革について

○成松 美枝（聖隷クリストファー大学）

・11:05～11:30

全米教職専門職基準委員会（NBPTS）スタンダードを活用した教員育成支援策の意義と課題

○藤本 駿（くらしき作陽大学）

・11:30～11:55

アメリカの学校段階区分変革に伴う教育環境整備の特徴と課題

－ 人的側面に注目して －

○星野 真澄（筑波大学）

・11:55～12:15

全体討議

自由研究発表Ⅱ

10月12日（土）10：15～12：15 1号館A棟A2教室

【司会】加藤幸次・赤星晋作

・10:15～10:40

サービス・ラーニング・コーディネーターによる学生指導の実践検証

○馬場 洸志（愛知教育大学大学院）

・10:40～11:05

classroom management & PBIS と生徒指導の比較

- 日米教職員への質問紙調査を踏まえて -

○藤平 敦（日本大学）

・11:05～11:30

米国の現職教員研修に関する研究

- 教員研修制度の抱える課題と新しい取り組み -

○藤村 祐子（滋賀大学）

・11:30～11:55

アメリカの経済教育普及における大学経済教育センター等の役割や活動

○小川 正人（環太平洋大学）

・11:55～12:15

全体討議

自由研究発表Ⅲ

10月12日（土）10：15～12：15 1号館A棟A3教室

【司会】安藤輝次・倉本哲男

・10:15～10:40

デューイ実験学校の歴史科教師ラニオンによるターナーの歴史学理論の摂取とその「心理化」

○中村 仁志（愛知教育大学大学院・静岡大学大学院）

・10:40～11:05

保育者の早期離職の問題についての考察

－ John P. Wanous の Realistic Job Preview は日本の保育業界へ導入可能か －

○福島 豪（鹿児島国際大学）

・11:05～11:30

アメリカ初等教育におけるリーディング授業の多様性

－ Guided reading を中心に －

○村松 麻里（金沢学院大学）

・11:30～11:55

ハーバード・クリーバードのカリキュラム史観と現代カリキュラム

○浅沼 茂（立正大学）

・11:55～12:15

全体討議

アメリカ教育学会第 31 回大会 公開シンポジウム

日米比較を通して生徒指導を考える

ー不利な立場にある子どもに着目してー

日時：2019 年 10 月 12 日（土）14:00～16:15

会場：京都教育大学 1 号館 C 棟 大講義室 I

【趣旨】

アメリカの学校は、人種や民族的マイノリティ、貧困等の問題を抱えた子どもへの教育保障の観点から、ヴァルネラブル（vulnerable）な子どものニーズに応じられるように、多様な制度設計がなされていることが特徴の一つです。わが国においても、昨今、徐々にではありますが子どもの貧困をはじめ、子どものニーズは一層複雑・多様化し、アメリカと似通った状況が徐々に現出してきました。子どもを取り巻く様々な問題や諸課題に日々直面しているアメリカでは、どのようにして子どもの教育を保障し、支援しているのでしょうか。

公開シンポジウムでは、「不利な立場にある」子どもに焦点を当て、生徒懲戒やオルタナティブ教育、保護者への就労支援といった観点から、日本との比較を交えながら生徒指導について考えます。

【提案者】

1. アメリカの生徒懲戒制度に見る近年の傾向 片山紀子（京都教育大学 教授）
2. 青少年への多様な学びの場としてのオルタナティブ教育 宮古紀宏（国立教育政策研究所 主任研究官）
3. アメリカにおける就労支援の強化と最低生活保障 久本貴志（福岡教育大学 准教授）

【司会】

黒田友紀（日本大学 准教授）

若手研究者ワークショップ・交流会のご案内

日時：2019 年 10 月 11 日（金）17:00～18:30（終了後交流会を開催します）

場所：京都教育大学 教育創生リージョナルセンター機構棟 2 階
セミナールーム A・B

企画者：黒田友紀（日本大学）・藤村祐子（滋賀大学）・澤田 稔（上智大学）

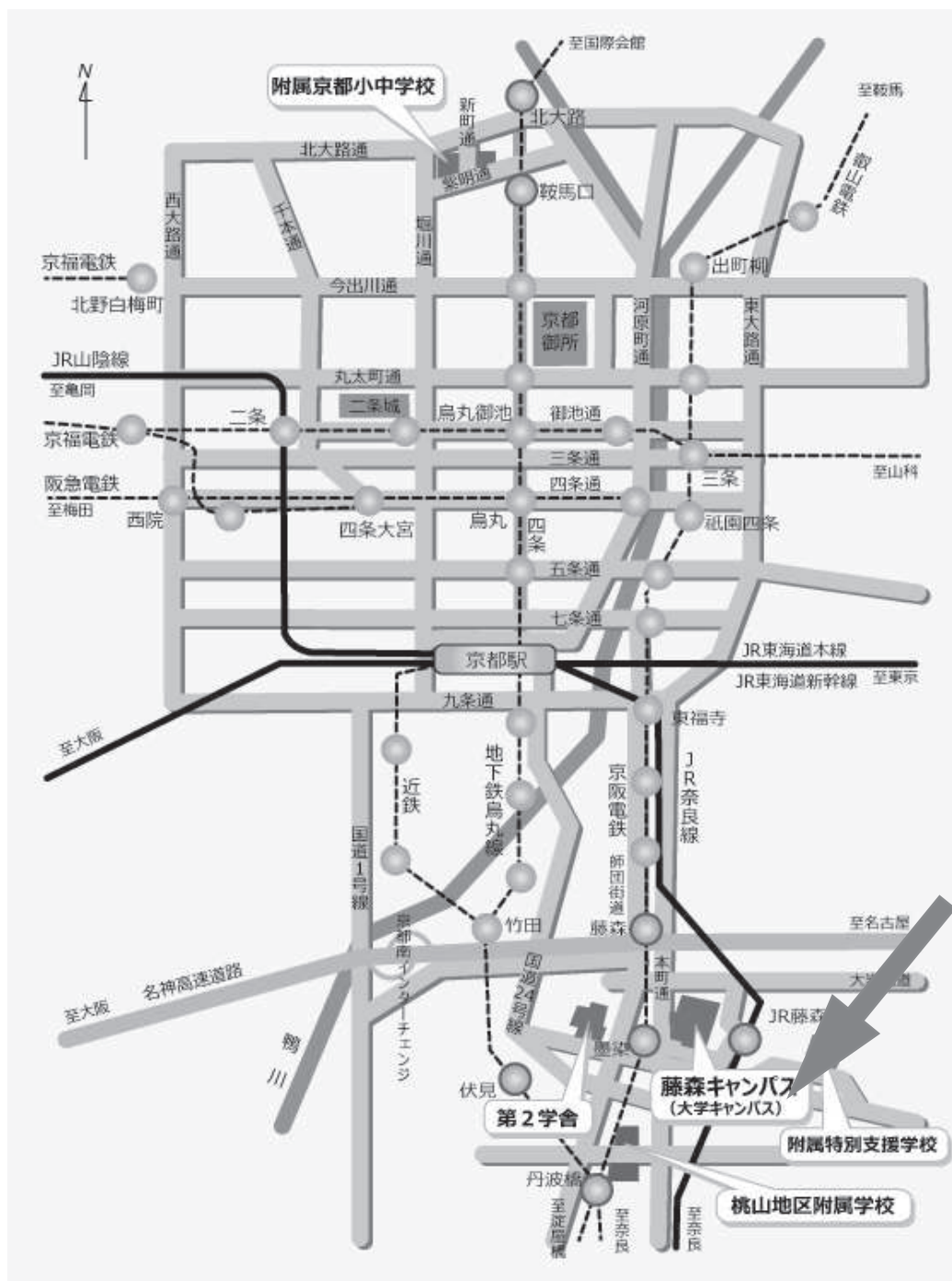
学会大会の前日夕方に、若手研究者の支援とネットワーキングを目的としたワークショップを企画いたします。

具体的には、若手研究者が研究をするなかで困難を感じていることや、初期キャリアの形成に関する相談や、「科学研究費」等外部資金の獲得に向けた書類の書き方などに関するアドバイスの機会を設けます。本企画は、当学会の初めての試みですが、アメリカ研究を行う若手研究者の交流とネットワーキングの機会になればと思います。

ワークショップ終了後、参加者による交流会を開催いたします。ワークショップ・交流会に参加希望の方は、10 月 6 日（日）までに学会事務局（jaaes.since.1989@gmail.com タイトルは若手研究者ワークショップ参加）までご連絡くださいませ。

※「若手研究者」の定義は、各自にお任せいたします。

会場への交通案内



交通機関

JR 奈良線：JR 藤森駅下車 徒歩約 3 分

京阪本線：墨染駅下車 徒歩約 7 分

教育学関係学術図書のご案内

価格は税別。

アメリカ合衆国における学校体罰の研究
片山 紀子著 7000円

マクマリーのタイプ・スタディ論の形成と普及
藤本 和久著 12000円

米国公立学校教員評価制度に関する研究
藤村 祐子著 7000円

現代アメリカにおける構築主義歴史学習の原理と展開
寺尾 健夫著 13000円

デューイ実験学校における統合的カリキュラム開発の研究
中野 真志著 9500円

アメリカ公教育思想形成の史的研究
北野 秋男著 10000円

明治初期におけるアメリカ教育情報受容の研究
橋本 美保著 11500円

現代アメリカ立憲主義公民学習論研究
中原 朋生著 9500円

教育における指導ラウンド——ハーバードの
R.エルモア・L.テイテル他著 八尾坂修監訳 2800円

教員人事評価と職能開発——日本と諸外国の
八尾坂 修編著 8000円

アメリカ合衆国教員免許制度の研究
八尾坂 修著 13000円

学校文化を創るスクールリーダー——学校改善を
T.デール・K.ピターソン著 中留武昭・加治佐哲也・八尾坂修訳 2800円

現代米国の教員団体と教育労働法制改革
高橋 哲著 8000円

米 国 教 師 教 育 制 度 史 研 究
村山 英雄著 11000円

アメリカにおける教育官僚制の発展と克服に関する研究
松原 信継著 9500円

日系アメリカ人の文学活動の歴史的変遷
水野真理子著 7500円

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-34
TEL 03-3291-5729 FAX 03-3291-5757

風 間 書 房

(URL) <https://www.kazamashobo.co.jp>
メールアドレス pub@kazamashobo.co.jp

世界のいじめ研究が、何をしてきたのか、今、どこに来ているのか

いじめ研究の成果を総括——ISBN978-4-7619-2271-9

『学校におけるいじめ』

～国際的に見たその特徴と取組への戦略～

原著者 ■ ピーター・K・スミス

総監修 ■ 森田洋司 (鳴門教育大学特任教授・大阪市立大学名誉教授・日本生徒指導学会会長)

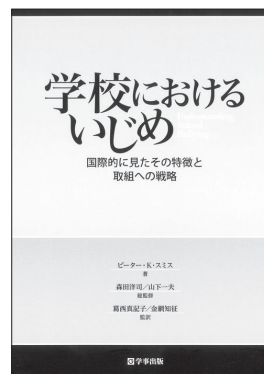
山下一夫 (鳴門教育大学学長)

監 訳 ■ 葛西真記子 (鳴門教育大学教授)・金網知征 (甲子園大学准教授)

定価 (本体3,200円＋税) / A5判 / 312ページ

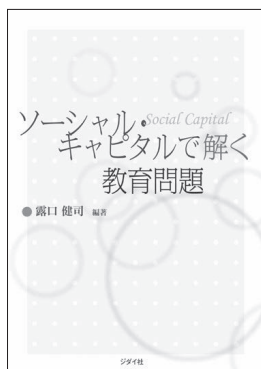
★世界的ないじめ研究の第一人者 ピーター・K・スミス著
『Understanding School Bullying』の邦訳。世界各国のいじめ
研究のこれまでの成果を総括。世界のいじめ研究が何をして
きたのか、今、どこに来ているのかを知ることができる。いじめ
防止への取組を進める研究者・実践者必読の書。

【大学教員、研究者、中学・高校教師対象】



(※所属先は刊行当時)

学事出版 千代田区外神田2-2-3 TEL 03-3253-4626 FAX 0120-655-514 <http://www.gakuji.co.jp>



露口 健司 編著

ソーシャル・キャピタルで解く教育問題

教育問題をつながり問題と捉え、これまで提案されてきたソーシャル・キャピタルの視点に立つ教育問題解決アプローチを概観する。さらに、現在課題となっている教育問題、具体的には「地域再生・地域活性化」「子どもの貧困と不平等・格差」「教員や成人の幸福」に関する3つの教育問題について、ソーシャル・キャピタルの視点から分析・考察を行い実践的示唆を得る。また、ハニファン (L. J. Hanifan) の教育実践を紐解きソーシャル・キャピタル概念の源流を明らかにする。

定価：本体2,400円＋税 A 5判252ページ ISBN978-4-909124-24-1

八尾坂 修 編著

新時代の教職概論 —学校の役割を知る 教師の仕事を知る—

時代を超えて変わらない価値のあるもの（「不易」）の学習を基調としつつ、時代の変化とともに変えていく必要があるもの（「流行」）について学ぶことも重視し、最新の教育改革や調査研究、課題事例等を取り上げた。学校・教師の全体像を捉えることに主眼を置き、難解な表現を使わず、各章を読めば専門用語の意味・内容が理解できるように工夫。各章末の「演習課題」は授業のアクティブ・ラーニング化に有効性をもつ。

定価：本体1,700円＋税 A 5判208ページ ISBN978-4-909124-19-7

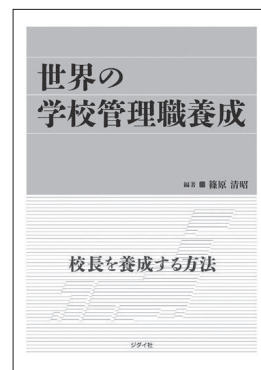


篠原 清昭 編著

世界の学校管理職養成 —校長を養成する方法—

諸外国（アメリカ・イギリス・ドイツ・中国・台湾・シンガポール・韓国）の校長（学校管理職）がどのように養成されているかをテーマに、養成制度を「枠組み」（システム）と「研修の中身」（コンテンツ）の2つの側面から研究・分析し紹介する。日本において教員制度改革が進むなか、わが国の校長や教頭の養成制度の課題を検証し、諸外国の事例を参考に、今後わが国に導入すべき学校管理職養成の開発モデルを大胆に提案する。

定価：本体2,400円＋税 A 5判256ページ ISBN978-4-909124-01-2

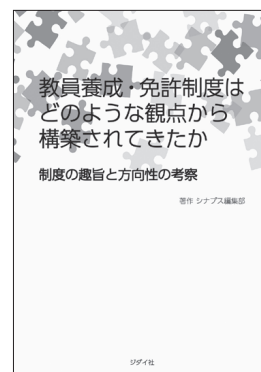


シナプス編集部 著作

教員養成・免許制度はどのような観点から構築されてきたか

現在の教員免許制度は、昭和63年の抜本的な改正以来、児童生徒の状況、学校教育の課題や方向性に応じて数次にわたり改正が行われてきた。本書は、こうした制度の改正全体を俯瞰し、教員免許制度が目指す方向性を整理してこれを明らかにする。関連する審議会答申や文部科学省通知等を参考に、その趣旨、改正の推移と目的等を記述し、関連して指摘される課題等も私見を交えて取り入れる。

定価：本体2,100円＋税 A 5判132ページ ISBN978-4-909124-06-7



お申し込みは書店または下記発行元までご連絡ください。

発行元 株式会社 ジダイ社

〒330-0064 埼玉県さいたま市浦和区岸町4-17-1-204
TEL：048-711-1802 FAX：048-711-1804

アメリカ教育学会第31回プログラム

2019年8月17日発行

発行者 アメリカ教育学会第31回大会準備委員会

委員長 片山紀子（京都教育大学）

副委員長 藤村祐子（滋賀大学）

〒612-8522

京都市伏見区深草藤森町1番地

京都教育大学藤森学舎